

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
- 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことに課題がある。
- 伝えることを明確にするために、集めた材料を分類したり関連付けたりすることに課題がある。

【算 数】

- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している。
- 除数が小数である場合の除法の計算をすることができる。
- 球の直径の長さと同様立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童が多い。
- 友達関係に満足している。
- 各教科で学んだことを生かして、自分の考えをまとめることに課題がある。
- 自分と違う意見について考えることに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があつた取組
 - ・朝の活動（10分）の国語タイム・算数タイムにおける全校共通のドリルの活用
 - ・算数の学習における分割授業の実施
 - ・自分の考えをまとめるための授業での「書く」活動の日常化
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・「書く」活動を支える ICT 機器を活用した授業づくりの更なる推進
 - ・児童が必要に応じて仲間と協働する場の設定

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があつた取組
 - ・児童の共通理解や家庭との連携のための子どもを見つめる会の実施
 - ・児童同士が多様なよさを認め合うための「いいところみつけ」の実施
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・予習を取り入れた家庭学習を意図的・計画的に実施
 - ・互いの考えを出し合い、自分の考えを付加・修正、深化し、伝え合う場の設定